

しろくしま つうしん

第4号



© @ butabulo

暑い夏になりました。四季があるのも日本の良さなのですが、暑さは「ほどほど」が良いですね。

友好交流都市との交流

7月、8月は山ノ内町の友好交流都市の皆さんとお会いする機会が増えました。足立区と玉村町からは、それぞれの花火大会にご招待いただき、我が町の友好交流協会の皆さんと伺いました。7月末には友好交流都市の皆さんを奥志賀の小澤国際室内楽アカデミー・奥志賀演奏会にご招待しました。足立区とは戦時中の疎開先としての関係、玉村町とは農業交流をきっかけに友好交流がはじまったそうです。

また、8月初旬に長野県の河北省友好40周年記念事業に合わせ、阿部知事と一緒に中国を訪問し、当町の友好交流都市である北京市密雲区にも伺いました。密雲区は北京市の水源になっていることから、その名に恥じないよう、この

自然保護を徹底しており、世界遺産の万里の長城もある区です。

コロラド州ベイル町（アメリカ）からは、ベイル町の10月議会に合わせてきてほしいとリクエストをいただいているので、現在調整中です。

パリエーションに富んだ都市たちと友好交流都市提携しているの、コロナも落ち着いた今だからこそ、子どもたちの交流や経済交流など、さまざまな形でお互いがプラスになる交流を再開していきたいです。

ユネスコエコパーク ネットワーク総会

国内のエコパーク10か所が一堂に集まるユネスコ・エコパークネットワークの総会に参加してきました。ユネスコ・エコパークは自然と人間の共生の地として認定されており、これからも山ノ内町としては、

素晴らしい自然を守りつつ、共に人間が生きていく最適な方法を見つけたいと思っています。

DMO勉強会

全国各地で立ち上がったという観光DMO、その財源作りなどの勉強会に出席してきました。

白馬村の丸山村長も出席されていましたが、先進的な北海道倶知安町の情報を共有していただき、財源作りや運営方法など、色々勉強になりました。これから我々が立ち上げる観光局は、しっかりと経済効果の出せる運営を目指します。

町長と語る会

4会場で開催し、たくさんの方々に集まっていたいただき意見交換ができました。

地区によって課題が違うのが印象的でしたが、子育て環境や教育、公共交通など、様々な意見をいただきましたので、順次町政に反映させるべく頑張りたいと思います。また時々開催していきます。

オーストラリア訪問記

7月に志賀高原索道協会と一緒にオーストラリア・シドニーに町のPRのため訪問してきました。現地の旅行代理店やエージェントとの商談会では冬の山ノ内町はもちろんのこと、夏の山ノ内町にも興味を持ってくれました。少し残念だったのは、2回ほど地獄谷野猿公苑に来たことがあるご夫婦から、志賀高原がどこにあるか知らないと言われました。スノーモンキーの方が有名なのですね。オーストラリア政府観光局の志賀高原ファンの方からは、山ノ内町にはもつとコーヒーオプショングが欲しいと言われました。美味しいコーヒーが飲めるカフェが足りないということですね。それは同感です。一番びっくりしたのは、オーストラリアの物価と所得水準の高さ。平均給与が920万円、最低賃金は2300円のとこと。日本は旅行するのに近くて安い国とのこと。日本の未来が少し心配になりました。

寄附をいただきました

町と株式会社西武・プリンズホテルズワールドワイドとの連携により、SDGsの目標12「つくる責任つかう責任」における「食品ロス問題」の解決を目的として、消費期限に余裕のあるものについて、『防災訓練による炊き出しやフードバンク等の活動に役立ててほしい。』と寄附の申し出をいただき、贈呈式を7月27日に行いました。町では、災害用害時にお

ける備蓄食料として、300食の寄附をいただきました。大切に使用させていただきます。



町長と語る会
会議録公開中